

春季観光シーズンの安全を祈願して

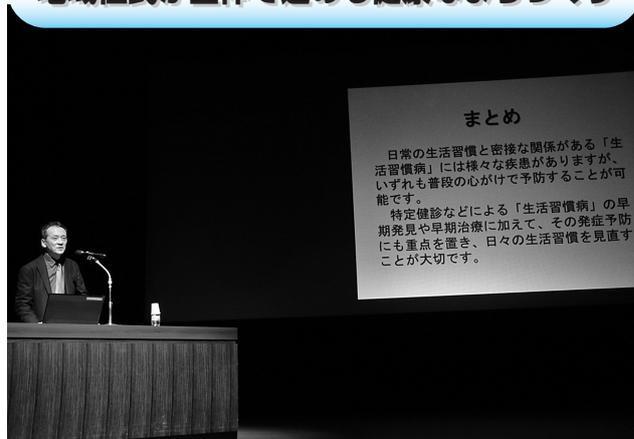


孝子源丞内に扮し、ひょうたんに水を汲む小林未奈さん(写真右)と久野亜弥香さん(写真左)

3月20日(水)に日本の名水百選である「菊水泉」から湧き出る水を汲み取り、養老神社などに献水し、春季観光シーズンの安全を祈願する「若水取り」が開催され、孝子源丞内に扮した大垣共立銀行養老支店の小林未奈さんと久野亜弥香さんがひょうたんに若水を汲み取りました。

町観光協会の中村一会長は「若水取りは菊水泉の水を、奈良県の朝廷へと献上していたことから続いています。養老公園には年間120万人の観光客が訪れており、観光シーズンになると多くの観光客で賑わいます。たくさんの人が養老公園で自然を感じ、楽しんでくれていることに感謝しています」と話しました。

地域住民が主体で進める健康なまちづくり



まとめ

日常生活習慣と密接な関係がある「生活習慣病」には様々な疾患がありますが、いずれも普段の心がけで予防することが可能です。

特定健診などによる「生活習慣病」の早期発見や早期治療に加えて、その発症予防にも重点を置き、日々の生活習慣を見直すことが大切です。

3月16日(土)に町民会館で「第2回 地域住民が主体となった健康づくりフォーラムin養老」が開催され、地域住民が主体となって健康づくりに関する情報を共有しました。

町保健センターによる町民の健康状態や健康課題についての報告、町食生活改善推進協議会と笠郷地域創生自治町民会議による健康増進の取り組み事例の紹介、やまぐち内科クリニック院長の川崎浩伸先生による「生活習慣病のおはなし」の講演をとおして、参加者は健康を維持していくためには、普段からの心がけと日々の生活習慣を見直すことが大切であることを改めて実感しました。

引き継がれる消防団の意思



4月7日(日)に町総合体育館において令和6年度養老町消防団入退団式が開催されました。退団者への感謝状の授与、新入団員をはじめとした団員への辞令の交付が行われ、これから養老町消防団員として消防活動を遂行していくにあたっての心構えについて、伊藤勝則消防団長から訓示がありました。

また、入退団式の後は新入団員へ消防団の活動や位置付けなどについての講習会も行われ、地域に密着し、地域における消防・防災の要となる消防団員としての心得について学びました。

桜舞う入学式



4月8日(月)に町内の各小中学校で入学式が行われ、小学校に144人、中学校に222人が入学しました。入学を祝うように桜が舞い、新入生はこれから始まる新生活への期待に胸をふくらませました。入学式では、校長先生や来賓、在校生からエールや歓迎する言葉が贈られ、校歌が披露されました。多くの人から温かく迎えられ、はじめは緊張した面持ちで臨んでいた新入生でしたが、笑顔を浮かべ、これから始まる学校生活への希望をのぞかせました。

また、児童たちが安全に登下校できるように、養老地区交通安全協会から町内小学校の新1年生に対してランドセルカバーが贈られました。